

# 带状疱疹について

## 【原因】

带状疱疹は、水痘（水ぼうそう）にかかったことがある人の免疫力が低下した時に、体の中に潜伏している水痘・带状疱疹ウイルスが再活性化することで発症します。

## 【症状】

- ・神経に沿って体の片側に帯状に並んだ皮疹ができます。
- ・赤い斑点の上に水ぶくれ（水疱）ができ、水疱の中央部がへこんでおり、ピリピリとした痛みを伴います。（皮疹が悪化・拡大すると右記の写真のようになります）
- ・皮疹が出現する前に、痛みや痒みなどの違和感が現れることもあります。
- ・治療が遅れると皮疹が全身に広がり、ひどくなる場合があります。
- ・顔面にできた場合は、脳、眼、耳などに合併症を起こす場合があります。
- ・皮疹が消えて、带状疱疹が治っても、患部に痛みが残る場合があります（带状疱疹後神経痛）

※水疱がある場合はウイルス感染の可能性があるので、医師の診察をうけてから軟膏を塗りましょう。

## 【具体的な対処方法】

- ・抗ウイルス剤（アシクロビル）の予防内服を中止した後に発症することが多いですが、まれに内服中に発症する場合があります。
- ・移植後は、水痘ワクチンや带状疱疹ワクチンなどの予防接種も推奨されておりますので、担当医とご相談ください。
- ・带状疱疹が疑われる症状を認めた場合は、早めに医療機関に相談・受診しましょう。

※患者さんの病状や免疫状態、移植をした施設の方針などによって対応が異なりますので、担当医の指示に従って下さい。

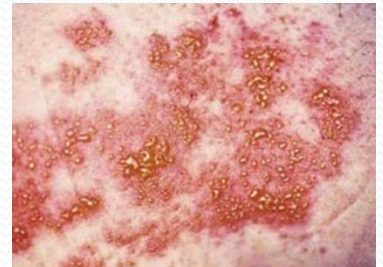
- ・水痘にかかったことがない他の人は、带状疱疹の患者さんから感染し、水痘にかかる可能性があるため、接触しないように注意しましょう。

### ＜带状疱疹の例＞



NEJM 2020;347:340

### ＜悪化・拡大の例＞



NEJM 2020;347:340

ご不明な点はLTFU担当者までお尋ねください。

2024年9月改訂版

